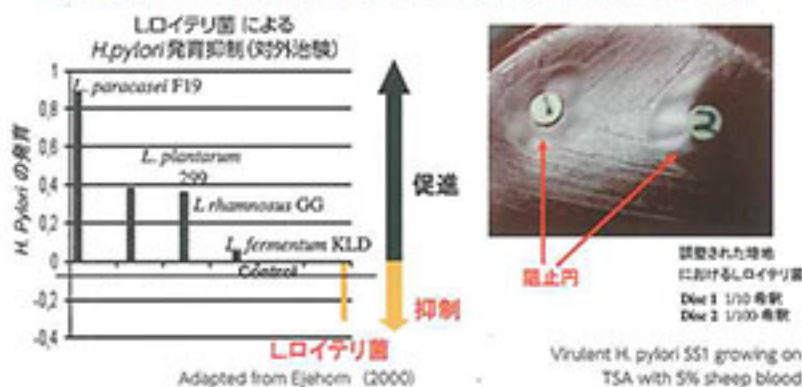


Ⅱ. 全身管理・健康増進領域での研究成果報告

報告 1 ピロリ菌感染症抑制

世界中の人口の半数はピロリ菌に感染しており、高齢者の感染率は高い。特に日本人男性はピロリ菌感染症の胃潰瘍は胃癌に変わる確率が高い。L.ロイテリ菌によりピロリ菌の抑制が確認されている。



報告 2 アレルギー抑制 一乳児のアトピー性皮膚炎の緩和

L.ロイテリ菌を摂取することで乳児のアトピー性皮膚炎の緩和が確認される。

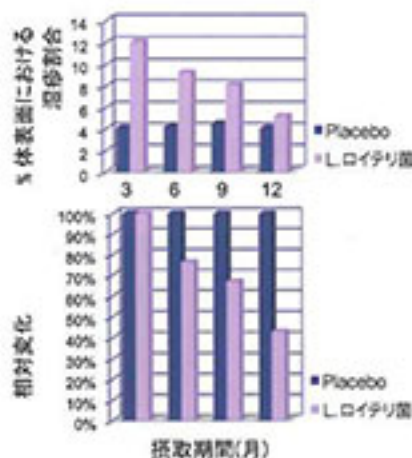
アトピー性皮膚炎の乳児50名(フレンド大学病院アレルギー科入院)を無作為に

- L.ロイテリ菌 (25名)
- プラセボ (25名)

12ヶ月間摂水 3ヶ月毎に検診

- プラセボグループ……皮膚表面の湿疹に変化はなかった
- L.ロイテリ菌グループ……皮膚表面の湿疹が57%減少した
- 両者間の相違は統計学的に優位であった (p<0.05)

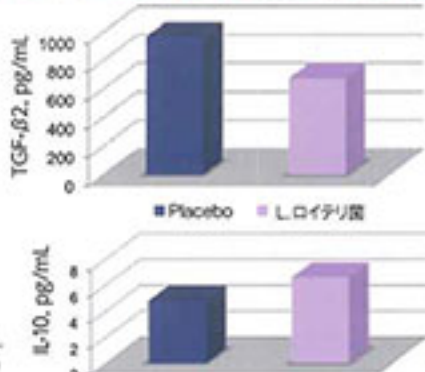
Gromert N, Axelsson I, accepted to ESPGHAN (2009)



報告 3 母乳の改善

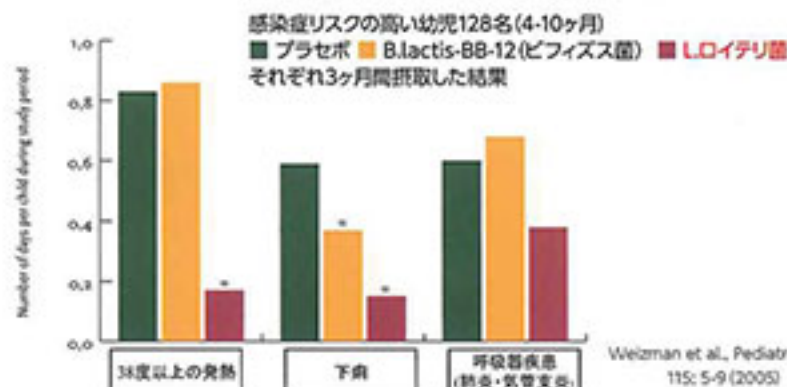
人の母乳の中にはアレルギー成分も含まれる。L.ロイテリ菌は乳児のアレルギーの引金となるTGF-β2を減少し、免疫成分として有効なIL-10を増やす。

- 出産前4週間の妊婦109名
- L.ロイテリ菌 (10⁸ CFU/日 オイルドロップ)
 - プラセボ
- L.ロイテリ菌は初乳中のTGF-β2を減少させ炎症性のIL-10を増加させる。
 - 低TGF-β2の母親の子供は過敏症(所謂アレルギー)になるリスクが明らかに低い。
- Böttcher et al. *Pediatr Allergy Immunol* 19:497-50 (2008)



報告 4 細菌感染症抑制

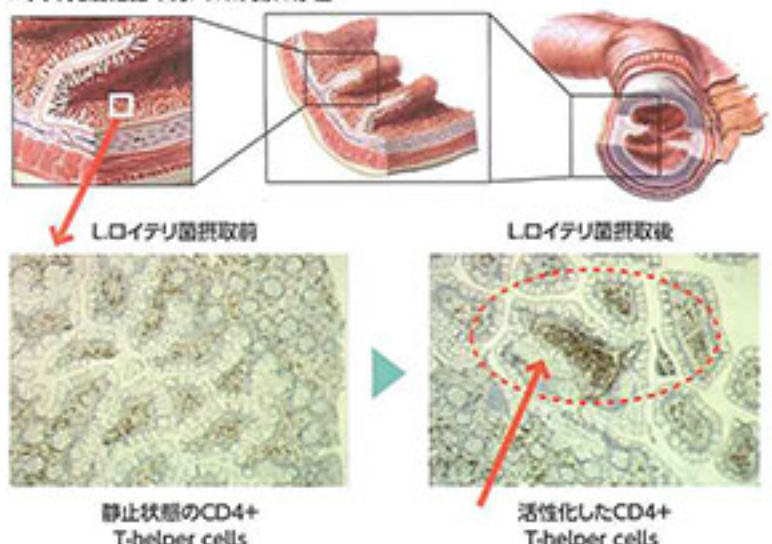
乳児の発熱や下痢、呼吸器疾患等のリスクの減少を確認。



報告 5 小腸内における免疫賦活

健康な被験者にL.ロイテリ菌を摂取させ、小腸の様子を確認。L.ロイテリ菌は腸の柔突起の辺りに付着し、人の免疫細胞の活性化が確認される。

※人の免疫細胞の約70%は腸に存在



報告 6 体内へのコロニーの形成

酸や胆汁等により菌が発生しにくい人間の体内に、L.ロイテリ菌のコロニーの形成を確認。(ヒトの胃腸管におけるL.ロイテリ菌摂取後28日目のコロニー)

